

会報

No. 24

平成3年3月20日

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9
京都府立図書館内
TEL(075)771-0069



三十年をふりかえって

京都府図書館等連絡協議会々長
福知山市立図書館々長

橋 本 實

昨年十月、図書館法施行四十周年記念文部大臣表彰を拝受致しましたことは、これ一重に皆様方の御指導の賜であり深く感謝致しております。

昭和三十五年図書館に勤務してからの間に三十年という長い年月を図書館一筋に、人生の大半を過ごしてきました。昭和三十年代・四十年代は婦人学級や青年学級が盛んなときであり、視聴覚担当として重たい映写機をバイクの荷台に乗せて夜よく走ったものです。自分たちで映写機を操作したいという人達に対して、取扱い講習会を各地域の公民館で開催したものです。

また、市民文化振興係として昭和四十年から市美術展を十八年間担当していく中で、多くの作家と市民の出会いの場を作ると共に、市民文化の中での図書館づくりを大切にしてきました。

図書館は「学生の勉強するところ」というイメージが強く、市民が気軽に利用できる身近な図書館にするためには、巡回文庫が一番いいのではないかと職員で話し合い昭和五十二

年から実施いたしました。三〇冊程入る木箱を作り、市の普通ライトバンに乗せて走り始めました。

農村部を中心に公民館の支店であったり、農作業場であったり、人の集まっているところに車を止めては説明をして回ったものです。夏の炎天下に車から木箱の出し入れに汗だくになってしまったのですが、市内の隅々まで走り回って、少ない冊数ではあるが気軽に一冊の本を手にとってくれたときは嬉しかったのです。

昭和五十七年、私たちの苦勞話を聞いた自動車整備会社から中古ではあるが図書館に車を寄贈したいという話があって、早速会社と話し合い図書館の希望を取り入れていただき、三方開きのワゴン車を寄贈していただいたのです。これまでのように車から箱を取り出さなくても三方のドアを開けると本が見易いようにと書架を設計して早速取付け、六〇〇冊の本を積み込みました。これでようやくBMとしての専用車が出来たのです。

ポディーには、「親子で楽しい読書」と大きく書き、音楽を鳴らしながら走り、人の集まっている所に行けば、こちらからドアを開けて本はどうですかと誘ってみると、『図書館でこんなサービスまでしているんですか』と声がかえってきました。いろんな経過の中で、現在では四六ヶ所のステーションとなり三〇日周期で巡回をしています。

館内の受付では、利用者と挨拶を交わすだけですが、巡回先では世間話をし、お茶をいただきながら読んだ本の感想も聞き、また、こんな本が読みたいとリクエストもあり、時間の過ぎるのも忘れることさえあります。

図書館に来るのを待つだけではなく、図書館から出向いて行くことによって、図書館を理解してもらうことが大切ではないでしょうか。

小さな図書館であっても、これらの生涯学習・高度情報化時代に対応していくべき電算化の問題など山積みしていますが、住民に豊富な知識と情報を提供していく図書館として、図書館サービスの体系的な整備を進めて行くべき努力が、今後私に課せられた仕事だと思っています。

今後とも皆様方のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

図書館めぐり

久御山町立図書館

山城盆地のほぼ中央に位置する久御山町は、宇治川と木津川に囲まれた純農村でありましたが、昭和四十一年に国道一号線が町のほぼ中央を縦貫するに伴って工場の進出が続ぎ、今では南山城最大の工場地帯と成っています。

それでも西部一円は都市近郊農業の先進地として、着実に前進を続け、工業団地を中心に東部の住宅街と併せてまさに調和のとれた町づくりが行われています。

町立図書館は、昭和五十一年に中央公民館図書室として開設された後に前進を続け、工業団地を中心に東部の住宅街と併せてまさに調和のとれた町づくりが行われています。



昭和六十年に拡張工事が行われ、翌年五月に開館いたしました。

フロアは幼児、児童、一般に区割りされ、そのほかに参考図書、京都コーナーが設けられています。図書室当時は僅か三、五〇〇冊の蔵書も現在は三九、〇〇〇冊に増え、さらに住民一人当たり二・五冊の五〇、〇〇〇冊をめざして増冊が続いています。また全域サービスとして移動図書館「さざんか号」が町内十六ヶ所を巡回し、多くの住民に喜ばれています。

平成元年度の利用状況は、人口の十六％に当たる三、〇五五人が登録され、貸出冊数は五四、四一八冊でした。夏季には児童を対象に種々の展示も行っています。

開館五年目を迎える今年、住民と本との豊かな出会いを大切に、活動が続けたいと願っています。

久御山町立図書館

亀岡市立図書館

昭和五十五年に新館がオープンしこの五月で十一年になろうとしています。その間、市民の本棚として定着し親しまれてきました。特に明日を担う子供達を重点に置き、学校配布や分室を開いてきました。しかし、それともまだまだ充分とはいえず、たとえば単に本を貸出だけでなくお



はなし会や読み聞かせ、ブックトークなどをしたりしてより子供と本とをむすびつけ、より学校との連携を密にすること、分室にあっては週一回を常時開室とすることなどです。又、京阪神のベッドタウンとして人口が増えつづけているなかで、最早、一館のみで市民に奉仕をすることはむずかしくなってきました。

幸い、今年から第二次総合計画がスタートし、市の重点施策として分館建設があがってきました。

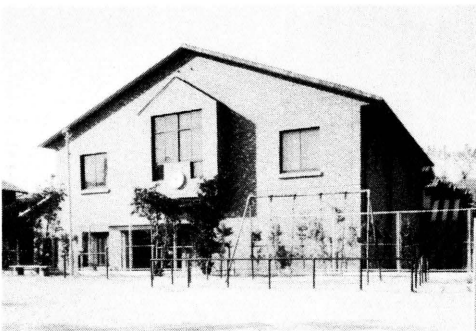
市民の高まりつつある生涯学習への意欲に応えるため、生涯を通じて学習活動に参加し得る場と機会を提供するとともに、生涯学習都市宣言をした街にふさわしい図書館づくりをしていきたいと考えています。

京都市西京図書館

昭和六十年八月に、京都市の第九番目の図書館として、蔵書二万冊（現在約四万二千冊）で開館しました。

開館当初は、区内に洛西ニュータウン等の住宅地を控えていることから、貸出冊数も一日平均一千冊を越え、日曜日などはカウンターに行列ができるなど、職員は汗だくで対応していましたが、昭和六十二年四月に、西京区内で二番目の洛西図書館開館に伴い、貸出冊数も一日平均六百四十冊程度に成っています。

開館当初より、地域に密着した図書館を目標として掲げ、特に魅力ある図書館とするために、定期的な催し物の開催（紙芝居・映画等）や、



ベストセラーコーナーの設置、また、古い本の更新等に取り組んでまいりました。

今後、さらに地域住民のみならずの期待に応えられるよう、職員一同より一層努力してまいります。

舞鶴市立図書館

舞鶴市に二つめの図書館が装いも新たに去る十二月十二日に誕生しました。

その名前は、舞鶴市立西図書館といえます。

建物の構造は、昨年オープンした東図書館とよくにており、館内はワンフロア形式で一般、児童、軽読書、視聴覚コーナーなどとなっております。開館時の資料は一般書約二〇、〇〇〇冊、児童書約一〇、〇〇〇冊、郷土資料約一、七〇〇冊、視聴覚資料(LD・CD)二五〇点での再出発です。

図書館の創設は、明治四十五年と遡りますが、この長い間に蓄積された郷土資料は数多く、これらの展示もふくめ、歴史資料室は、丹後地方の貴重な資料のコレクション・糸井文庫の中から数点を選び順次展示がえをしながら郷土史研究のコーナーとしております。(糸井文庫の一部は、マイクロ化され、館内で利用することもできます)



新館開館後の利用状況は、旧館の頃と比較しますと約二倍、新たに貸出登録される人は一日平均三・七人と日々微増はしておりますものの登録率一％余、それも図書館からの距離半径三キロ以内にとどまっているのが現状であります。

このことは東図書館についても言えることで、両館で(三四一冊)全域へのサービスを行っていくことは現状ではまだまだ遠く今後の大きな課題であろうかと思っております。(補筆しますと、市内には中央、東、西、南、加佐と五つの公民館があり、その各々にある図書室「東、西公民館は除き」は東西両館の分館「加佐は西図書館の分館」となっております。)

ニュース・News

新館の再出発を機に、多くの市民から新しく図書館ができてよかったと実感として感じてもらえる図書館を目標に摸索をつづけていきたいと思っております。

京都市吉祥院図書館

(仮称)の開設について

京都市中央図書館

京都市では、市内で十三館目の地域図書館である吉祥院図書館(仮称)の開館に向け、本年二月に着工いたしました。場所は京都市内の南西、桂川の下流に架かる久世橋から、北東(久世橋通東)約一キロメートルの位置にあり敷地約一、七三五平方メートル、建物は鉄筋コンクリート造三階建てで一階に図書館、二階は隣接する市立塔南高校の特別室、三階も同校の柔道・剣道場となっております。

このような学校との複合施設は京都市内で初めてのことです。最近の地価高騰や、まとまった用地が少なくなってきた現在の現状から、土地の有



効利用を図る上で考えられた新しい試みであります。

図書館の床面積は約五六三平方メートルで一・三階の延床面積は約一、五八五平方メートルとなっております。工期は約一年で竣工は平成四年一月末、開館は同年三月末を予定しております。

開館当初の蔵書は一五、〇〇〇冊、最終的には五〇、〇〇〇冊を予定。また、コンピュータを導入し、登録、検索等のスピードアップを図り、市民の皆様の期待に応じられるよう努力いたします。

平成二年度 近畿公共図書館協議会 奉仕部門研究集会開催

日時 平成三年二月二十日（水）

会場 神戸市総合教育センター

研究テーマ・公共図書館における視
聴覚資料運用の諸問題について

事例発表 1

大阪市立島之内図書館長 赤利 令氏

事例発表 2

神戸県立図書館協力課長 堀越 亘氏

事例発表 3

生駒市立図書館館長 内海 学氏

研究集会に参加して

京都府立図書館 渡辺昭子

新しい図書館資料として視聴覚資料が、利用提供されるようになって来ていますが、その取り扱いについて、既に貸出をされている図書館からの現状について三館から報告がありました。視聴覚資料、特にビデオの貸出について関心が多くありました。

貸出されている内容としては、どこも、洋画がトップで次にアニメ類です。

ビデオの使用回数は、大体二百、三百回仕様すれば廃棄しなければならぬ状態になるそうです。また、壊れやすい資料で消耗品扱いにされ

ています。図書館の大きな役割である資料の保存については、どの様にして行けばよいだろうか、資料を大切に扱うという感覚など薄れて行くのではないかなどのお話がありました。

また、これからの図書館は図書資料だけを扱っているのは、利用者から見放されてしまうという発言もありました。私は、図書館の規模によって違うと思いますし、その様なことにはならないと思います。

参加者からの質疑応答で、視聴覚資料を図書館資料として、どのような位置づけをされているかという質問がありました。答弁者は明確な言及はなかったものの、この点は、はつきりさせておく必要があると思いました。

いずれにしても、私たちの図書館では、遠い遠いお話のように思いました。



専 門 委 員 会 ニ ュ ー ス

相互協力委員会より

○ 相互貸借実態調査に御協力を！

この件は、既に昨年度末及び今年度総会にて文書及び口頭で予告しています。

- ① 調査用紙は、来る3月末にお届けする予定です。
- ② 各館におかれましては、他館から資料借受け

相互貸借記録		借出館	期限
書名	著者	貸出日	返却日
登録番号	貸出館		
(経過)			
(様式2-2) ○ 京都府図書館等連絡協議会			

相互貸借貸出票		借出館	期限
書名	著者	貸出日	返却日
登録番号	貸出館		
(連絡メモ)			
(様式2-3) ○ 京都府図書館等連絡協議会			

時に付いてくる「相互貸借貸出票」(左図様式2-3)及び他館へ資料貸出し時に手元に残す「相互貸借記録票」(左図様式2-2)を平成2年度分について保管の確認を始めて下さい。

○ 本年度初、相互協力委員会開催

2月5日、福知山市立図書館のお世話で同市文化会館の豪華な部屋において初顔合わせとなりました。

橋本会長からの挨拶をいただき、自己紹介の後、次の内容について協議しました。

まず、上記の平成2年度相互貸借実態調査について、前回(昭和62年4月実施)の調査様式や他府県の実例等を参考に協議しました。

次に今期(平成2年から3年度)相互協力委員会として相互貸借実態調査の他、何をすべきかについて、「相互協力の指針」(昭和61年6月決定)や事務局からの資料により相互協力におけるネットワークを身近な関連施設・機関との連携も視野に入れながら研究していくことを確認しました。

お詫びと訂正

広報委員会

京都府図書館等連絡協議会・会報No. 24の記事について当方の不手際により、左記のとおり誤りがありますのでお詫びしますとともに、訂正いただくようお願いいたします。

記

(4ページ、2段目)

行	正	誤
4・5 行目 か。	のではないでしょう	のではないかなどのお話がありました。
16 行目 明確な	問がありました	問がありました。答弁者は、明確な